

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年7月31日(2008.7.31)

【公開番号】特開2007-84564(P2007-84564A)

【公開日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2007-013

【出願番号】特願2006-302713(P2006-302713)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/04	(2006.01)
A 6 1 P	29/02	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	13/08	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/06	(2006.01)
A 6 1 K	31/4025	(2006.01)
A 6 1 K	31/57	(2006.01)
A 6 1 K	31/496	(2006.01)
A 6 1 K	31/573	(2006.01)
A 6 1 K	31/565	(2006.01)
A 6 1 K	31/59	(2006.01)
A 6 1 K	31/277	(2006.01)
A 6 1 K	31/4166	(2006.01)
A 6 1 K	31/167	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/08	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00			
A 6 1 P	25/04			
A 6 1 P	29/02			
A 6 1 P	35/00			
A 6 1 P	13/08			
A 6 1 P	43/00	1	1	1
A 6 1 K	45/06			
A 6 1 K	31/4025			
A 6 1 K	31/57			
A 6 1 K	31/496			
A 6 1 K	31/573			
A 6 1 K	31/565			
A 6 1 K	31/59			
A 6 1 K	31/277			
A 6 1 K	31/4166			
A 6 1 K	31/167			
A 6 1 K	37/02			
A 6 1 P	19/08			

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月17日(2008.6.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

治療有効量のエンドセリンE T - A受容体アンタゴニストを含む、患者における癌関連痛を緩和するための医薬組成物。

【請求項2】

癌が前立腺癌であり、患者が男性であることを特徴とする、請求の範囲第1項に記載の医薬組成物。

【請求項3】

更に、抗癌剤を含むことを特徴とする、請求の範囲第1項に記載の医薬組成物。

【請求項4】

抗癌剤がロイプロリド、ゴセレリン、ビカルタミド、ニルタミド、フルタミド、ビタミンD、ビタミンDアナログ、エストロゲン、エストロゲンアナログ、プレドニゾン、ヒドロコルチゾン、ケトコナゾール、酢酸シプロテロン及びプロゲステロンから選択されることを特徴とする、請求の範囲第3項に記載の医薬組成物。

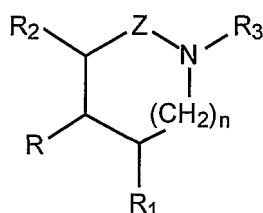
【請求項5】

放射線治療と共に使用されることを特徴とする、請求の範囲第2項に記載の医薬組成物。

【請求項6】

治療有効量の式I：

【化1】



I

[式中、

Rは-(CH₂)_m-Wであり；

Zは-C(R₁₈)(R₁₉)-及び-C(O)-から選択され；

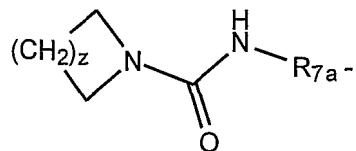
R₁及びR₂は独立して水素、低級アルキル、アルケニル、アルキニル、アルコキシアルキル、アルコキシカルボニルアルキル、ヒドロキシアルキル、ハロアルキル、ハロアルコキシアルキル、アルコキシアルコキシアルキル、チオアルコキシアルコキシアルキル、シクロアルキル、シクロアルキルアルキル、アミノカルボニルアルキル、アルキルアミノカルボニルアルキル、ジアルキルアミノカルボニルアルキル、アミノカルボニルアルケニル、アルキルアミノカルボニルアルケニル、ジアルキルアミノカルボニルアルケニル、ヒドロキシアルケニル、アリール、アリールアルキル、アリールオキシアルキル、アリールアルコキシアルキル、(N-アルカノイル-N-アルキル)アミノアルキル、アルキルスルホニルアミドアルキル、ヘテロ環、ヘテロ環式アルキル及び(R_a_a)(R_b_b)N-R_c_cから選択され、ただしR₁及びR₂の一方または両方が水素以外であり；

R₃はR₄-C(O)-R₅-、R₄-R₅a-、R₄-C(O)-R₅-N(R₆)-、R₆-S(O)₂-R₇-、R₂₆-S(O)-R₂₇-、R₂₂-O-C(O)-R₂₃-、低級アルキル、アルケニル、アルキニル、シクロアルキル、シクロアルキルアルキル、アリール、アリールアルキル、アリールオキシアルキル、ヘテロ環、ヘテロ環式

アルキル、アルコキシアルキル、アルコキシアルコキシアルキル及び $R_{1\sim 3}-C(O)-CH(R_{1\sim 4})-$ から選択され；

R_4 及び R_6 は独立して $(R_{1\sim 1})(R_{1\sim 2})N-$ 、低級アルキル、アルケニル、アルキニル、シクロアルキル、シクロアルキルアルキル、アリール、アリールアルキル、ヘテロ環、ヘテロ環式アルキル、アルコキシアルキル、ヒドロキシアルキル、ハロアルキル、ハロアルケニル、ハロアルコキシアルキル、ハロアルコキシ、アルコキシハロアルキル、アルキルアミノアルキル、ジアルキルアミノアルキル、アルコキシ、及び

【化2】



から選択され；

R_5 は共有結合、アルキレン、アルケニレン、-N($R_{2\sim 0}$)- R_8- 、- $R_{8\sim a}-N(R_{2\sim 0})-$ R_8- 、-O- R_9- 及び- $R_{9\sim a}-O-R_9-$ から選択され；

R_6 は低級アルキル、ハロアルキル、アルコキシアルキル、ハロアルコキシアルキル、アリール及びアリールアルキルから選択され；

R_7 は共有結合、アルキレン、アルケニレン、-N($R_{2\sim 1}$)- $R_{1\sim 0}-$ 及び- $R_{1\sim 0}a-N(R_{2\sim 1})-$ $R_{1\sim 0}-$ から選択され；

R_8 はアルキレン及びアルケニレンから選択され；

R_9 はアルキレンであり；

$R_{1\sim 0}$ はアルキレン及びアルケニレンから選択され；

$R_{1\sim 1}$ 及び $R_{1\sim 2}$ は独立して水素、低級アルキル、ハロアルキル、アルコキシアルキル、ハロアルコキシアルキルアルケニル、アルキニル、シクロアルキル、シクロアルキルアルキル、アリール、ヘテロ環、アリールアルキル、ヘテロ環式アルキル、ヒドロキシアルキル、アルコキシ、アミノアルキル、トリアルキルアミノアルキル、アルキルアミノアルキル、ジアルキルアミノアルキル及びカルボキシアルキルから選択され；

$R_{1\sim 3}$ はアミノ、アルキルアミノ及びジアルキルアミノから選択され；

$R_{1\sim 4}$ はアリール及び $R_{1\sim 5}-C(O)-$ から選択され；

$R_{1\sim 5}$ はアミノ、アルキルアミノ及びジアルキルアミノから選択され；

$R_{1\sim 6}$ は低級アルキル、ハロアルキル、アリール及びジアルキルアミノから選択され；

$R_{1\sim 7}$ は低級アルキルであり；

$R_{1\sim 8}$ 及び $R_{1\sim 9}$ は独立して水素及び低級アルキルから選択され；

$R_{2\sim 0}$ は水素、低級アルキル、アルケニル、ハロアルキル、アルコキシアルキル、ハロアルコキシアルキル、シクロアルキル及びシクロアルキルアルキルから選択され；

$R_{2\sim 1}$ は水素、低級アルキル、アルケニル、ハロアルキル、アルコキシアルキル、ハロアルコキシアルキル、アリール及びアリールアルキルから選択され；

$R_{2\sim 2}$ はカルボキシ保護基及びヘテロ環から選択され；

$R_{2\sim 3}$ は共有結合、アルキレン、アルケニレン及び-N($R_{2\sim 4}$)- $R_{2\sim 5}-$ から選択され；

$R_{2\sim 4}$ は水素及び低級アルキルから選択され；

$R_{2\sim 5}$ はアルキレンであり；

$R_{2\sim 6}$ は低級アルキル、ハロアルキル、アルケニル、アルキニル、シクロアルキル、シクロアルキルアルキル、アリール、アリールアルキル、ヘテロ環、ヘテロ環式アルキル、アルコキシアルキル及びアルコキシ置換ハロアルキルから選択され；

$R_{2\sim 7}$ はアルキレン及びアルケニレンから選択され；

$R_{5\sim a}$ はアルキレン及びアルケニレンから選択され；

$R_{7\sim a}$ はアルキレンであり；

R_{8-a} はアルキレン及びアルケニレンから選択され；

R₂C=CH₂ はアルキレンであり；

R₁、R₂はアルキレン及びアルケニレンから選択され；

R₂はアリール及びアリールアルキルから選択され；

R_b は水素及びアルカノイルから選択され:

R₁-R₂はアルキレンであり、

mは0~6であり・

n は 0 または 1 である。

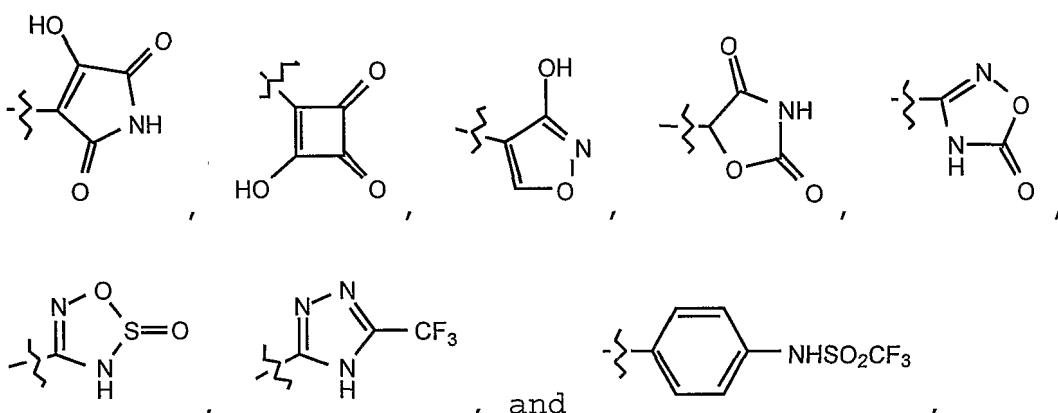
これは 0 ~ 5 であり：

Fは水素、低級アルキル及びアリールアルキルから選択され、

ヒは水素、低級アルキル及びアリールアルキルから
ヒは水素及びカリボキシ保護基から選択され：及び

G は水素及びカルボキシ保護基から選択され、及び
W は - C (O) ₂ - G、- PO ₃ H ₂、- P (O) (OH) (E)、- CN、- C (O)
N H R ₁₋₇、アルキルアミノカルボニル、ジアルキルアミノカルボニル、テトラゾリル
、ヒドロキシ、アルコキシ、スルホンアミド、- C (O) N H S (O) ₂ R ₁₋₆、- S (O)
₂ N H C (O) R ₁₋₆、

【化 3】



から選択される]

を有する化合物またはその医薬的に許容される塩を含む、癌関連痛を緩和するための医薬組成物。

【請求項 7】

癌が前立腺癌であり、患者が男性であることを特徴とする、請求の範囲第6項に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

更に、抗癌剤を含むことを特徴とする、請求の範囲第6項に記載の医薬組成物。

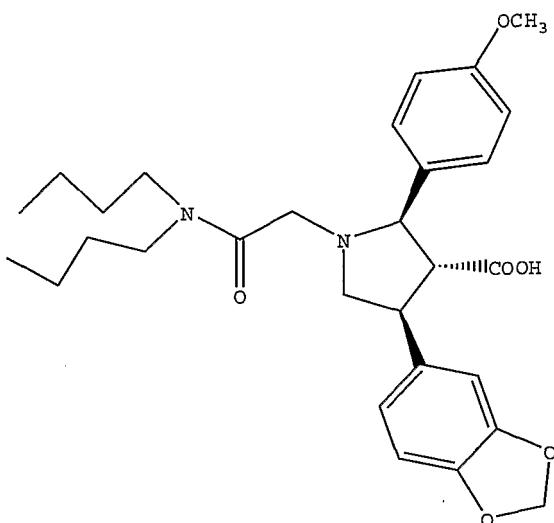
【請求項 9】

【請求項 9】
追加の抗癌剤がロイプロリド、ゴセレリン、ビカルタミド、ニルタミド、フルタミド、ビタミンD、ビタミンDアナログ、エストロゲン、エストロゲンアナログ、プレドニゾン、ヒドロコルチゾン、ケトコナゾール、酢酸シプロテロン及びプログステロンから選択されることを特徴とする、請求の範囲第8項に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

治療有效量の式 TTT :

【化4】



III.

を有する化合物を含む、癌関連痛を緩和すための医薬組成物。

【請求項11】

癌が前立腺癌であり、患者が男性であることを特徴とする、請求の範囲第10項に記載の医薬組成物。

【請求項12】

更に、抗癌剤を含むことを特徴とする、請求の範囲第10項に記載の医薬組成物。

【請求項13】

抗癌剤がロイプロリド、ゴセレリン、ビカルタミド、ニルタミド、フルタミド、ビタミンD、ビタミンDアナログ、エストロゲン、エストロゲンアナログ、プレドニゾン、ヒドロコルチゾン、ケトコナゾール、酢酸シプロテロン及びプロゲステロンから選択されることを特徴とする、請求の範囲第12項に記載の医薬組成物。